

三中図書館だより



令和4年度 No. 1
4月18日 図書文化委員会
学校司書 発行



ご入学、ご進級おめでとうございます

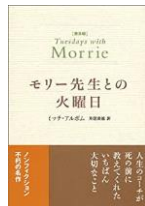
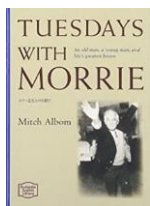


こんにちは。今年度から三崎中学校の学校図書館を担当する松原久美子です。みさき小学校で出会ったみなさんとまた一緒に学校生活を送れることになり、うれしく思っています。成長した姿を見るのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

図書館ガイダンスを行いました！

4月7日に図書館ガイダンスを行いました。谷内先生から、読書記録しおりの使い方の説明がありました。素敵な取り組みですね。楽しみにしています。また、先生方からは、おすすめの本の紹介がありました。学級文庫を選んでいる委員のメンバーからは「先生のおすすめの本にしよう」という声も聞かれました。学校司書からはルールやマナーについて、『としょかん町のバス』という本を使って分類について話をしました。県立図書館などの大きい図書館に行ったときの参考にしてください。

苗代先生のおすすめ！



赤阪先生のおすすめ！



学校図書館のルールとマナーについて

- ・本をかりる時は、必ず貸出しカードに書きましょう 踊り場などにある本をかりる時も忘れずに書きましょう。
- ・1人2冊まで 貸出期間は2週間です

「中学生の気持ち」

中学生の気持ちが書かれている本を集めてみました。悩んでいるのは自分だけでないんだな、こんな風に解決していけばいいんだな、などと共感できると思います。よかったら読んでみてください。

『そのことばが降ってくる 保健室の俳句会』



中学に入り、顔のホクロをからかわれて教室に行けなくなってしまったソラは、保健室で風変わりな同級生ハセオに会い、ナゾクという俳句遊びに誘われる。次第に俳句に興味をもちはじめたソラは、養護の北村先生と三人での俳句会を始めることに。学校で企画された新春の俳句大会。思い切って、傷ついた自分の心と向き合ったソラが作った句は――。

17音で表現することは、長い文章を書くより難しいことだと思います。その奥に隠された真意を探るのも俳句を味わうひとつかなと思いました。

『文豪中學生日記』



「書くこと」が三度の飯より好きなハルキ。国語以外の成績はふるわないものの、文芸部の部長として周囲の信頼も厚く、中学最後の年を楽しく過ごしていた。ところが、SNS の誹謗中傷から歯車が狂いはじめ、運命は思いもかけない方向へ……。

主人公はあることを秘密にしながら文章を書いています。その文章の表現力の仕方が巧みで、こんな風に日記を書くことで、自分の心を整えているのだな、と感じました。